

東奥女子高等学校

住 所 青森市中央二丁目十五の十七

生徒数 九九四名

部員数 女子八名

顧問 高山 千恵子

コーチ 浜形 優

青森県高等学校体育連盟空手道部会が創立二十周年記念事業を
挙行するにあたり、心からお祝い申し上げます。

一口に二十年と申しますが、人間にたとえれば成人式を迎える
ことになる訳で、ここまで立派に築きあげられました陰には関係
各位の皆様の大変な御苦労があったのではないかと察するところ
であります。

空手道は技を磨くことだけでなく、強い心を養い、それと共に
人間として大切な礼儀の心を植え付けます。礼は習慣でするだけ
のものではなく、心から生まれるものと思います。道は「礼に始
まり、礼に進み、礼で終る」とお聞きして居ります。私共、学校
に勤めるものとして、子供を育てるにあたり空手の道は真に有益
であると信じ、部を創設したところでもあります。

また、平成六年度より「空手道」が学校の授業に取り入れられ
るようになることと、アジア大会またオリンピックの種目にもな
るようですが、いずれにせよ、空手道に係る者としては、大変意
義深いものがあります。

本県の「空手道」も東北・全国また世界に名を轟かせている迫
選手姉妹（光星高校）、大久保選手（三本木高校）等を育てられ
た高空連の功績は、誠に偉大なものと感服している一人でもあり、
これらの諸先輩方の功績が、これからますます子供達の励みとなっ
て行くものと確信いたして居ります。

本校の空手道部はまだ日が浅く、今年で三年目であり、当初は
愛好会であり、正晃館の浜形先生をコーチとして迎え、二人の部
員から始まりました。今では部員も増えましたが、一年目は入っ
ては辞め、入っては辞めという厳しい有様でした。顧問である私
が教えられないというみじめな思いもあり、部員が辞めることを
思い悩みながら、毎日毎日ジレンマに押し潰されそうでした。技
を教えることは出来ませんが、自分の分野として基礎トレーニン
グを受け持とうと決心したものの、うまく行かず、コーチや父母
とぶつかった事も有りました。そんな中で、子供達が一生懸命頑
張っている姿を励みに、今一度、今一度と思ひ直し思い直しして
は今日に至りました。

そんな状況の中で、佐藤裕美子、藤森志麻子部員がどんどん力
をつけて来て、各大会に入賞。また、国体選手候補に選ばれるな
どするようになりました。昨年の新人戦で藤森が型の部で優勝、
東北大会第三位入賞、全国選抜大会出場と榮譽を得ることが出来、
本校の空手道が一気に盛り上がりを見せました。二年目に同好会
となり、三年目に部として昇格することが出来ました。

他校に比べまだまだ少人数であります。現在八名（三年生一
名、二年生四名、一年生三名）の部員をかかえ、やっと部らしい様

相を呈することが出来るようになり、日夜練習に励み、一日一日と充実していく今日この頃です。

本県では女子の空手道部を有する学校が二十校とお聞きして居りますが、本校も一日も早く他校と対抗できるレベルに到達するよう、部員を増やし、武道精神を忘れぬ技術向上を図り、高空連の歴史に名を残すチームになりたいと思っております。

前述した通り、本校空手道部の日が浅いこともあり、皆様には度々御迷惑をお掛けしつつ、各大会に参加させて頂いて居りますのも、関係各位の皆様のお陰と存じ感謝申し上げる次第で御座います。



最後になりますが、各大会の開催を担当されている事務局の皆様のお苦勞を察し、私どもにでも今後何かお手伝い出来ることが有れば幸いと思っております。

今後とも今まで以上の御指導、御鞭撻をお願い申し上げますと共に、青森県高等学校体育連盟空手道部会が益々飛躍されることを心から祈念して、お祝いの言葉と致します。

